

## 今後見込まれる主な大規模事業

項目	概要	事業費
中津日田道路	事業中区間：三光本耶馬溪道路、耶馬溪道路、日田山国道路 事業期間：概ね10年間 (今後事業化が期待される区間 → 山国耶馬溪道路)	残事業費(H27以降) 約730億円 (H27～31年度 約360億円) * 国・県事業を含む
中九州横断道路	事業中区間：大野竹田道路 事業期間：平成30年度まで (今後事業化が期待される区間 → 竹田～阿蘇間)	残事業費(H27以降) 約60億円 (H27～31年度 約60億円) * 国・県事業を含む
庄の原佐野線	事業中区間：元町・下郡工区 事業期間：概ね2年間 (今後事業化が期待される区間 → 下郡工区)	残事業費(H27以降) 約50億円 (H27～31年度 約50億円)
玉来ダム	事業箇所：竹田市 事業期間：未定	残事業費(H27以降) 約190億円 (H27～31年度 約120億円)
大分川ダム	事業箇所：大分市 事業期間：平成31年度まで	残事業費(H27以降) 約360億円 (H27～31年度 約360億円) * 国事業
大分東警察署(移転)	場所：大分市(鶴崎) 期間：27年度;用地取得・実施設計等 28～29年度;庁舎建設工事	概算事業費 約17億円 (H27～29年度 約17億円)
県立芸術文化短期大学の整備	「県立芸術文化短期大学のあり方について報告書」(H26.3.26)を受け、「県立芸術文化短期大学キャンパス整備基本構想」を策定(H27.5.25) 築後40年を経過した施設の老朽化、狭隘化に対応するため、学生にとって機能的で魅力的な施設整備を推進	想定事業費 約50数億円程度
埋蔵文化財センターの機能充実	「埋蔵文化財センターの今後のあり方について(答申)」(H27.1.30) 施設の老朽化が著しく、早急な抜本的な対策が必要なため、遊休施設等既存施設の活用ないし転用が最も現実性が高いとして、廃校となる学校、県立芸術会館などを移転候補地として提起	想定事業費 約8億円程度
科学捜査研究所の機能充実	客観証拠の重要性が高まる中、新たな鑑定手法・機器の導入による鑑定機能の充実を図るため、科学捜査研究所の新たな整備を検討中	想定事業費 約13億円程度
県立屋内スポーツ施設の整備	「県立屋内スポーツ施設のあり方について提言書」(H27.5.22) 武道競技を中心としつつ県民が幅広く利用できる新たな県立屋内スポーツ施設の整備について方向性を提案	想定事業費 少なくとも50億円

※想定事業費は提言等を実現する場合に見込まれる事業費

項目	概要
動物愛護センターの設置	「大分県動物愛護拠点施設調査検討委員会報告書」(H26.11.28) 譲渡返還・愛護の場として、動物を飼養管理する保管譲渡用施設、負傷動物の治療、避妊手術等を行う治療手術室、教育啓発活動・ふれあいの場として、学習施設(しつけ・飼い方の講習、各種研修)が必要と提案